

河原 祐馬教授 略歴

- 一九六〇年 五月 八日 兵庫県姫路市に生まれる
- 一九八四年 三月 金沢大学文学部史学科卒業
- 一九八七年 四月 京都大学大学院法学研究科修士課程入学
- 一九八九年 三月 京都大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）
- 一九八九年 四月 京都大学大学院法学研究科博士後期課程進学
- 一九九一年 三月 京都大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学
- 一九九一年 四月 愛媛大学法文学部講師
- 一九九四年一〇月 愛媛大学法文学部助教授
- 一九九四年一〇月 一九九五年 九月 ロシア連邦 ロシア科学アカデミー・ロシア史研究所客員研究員
- 一九九五年一〇月 一九九六年 九月 ロシア連邦 ロシア科学アカデミー・国家と法研究所客員研究員
- 一九九八年 四月 愛媛大学大学院法文学研究科助教授
- 二〇〇二年 四月 岡山大学法学部教授
- 二〇〇二年 四月 二〇〇六年 三月 岡山大学大学院法学研究科教授
- 二〇〇三年 四月 二〇〇六年 三月 岡山大学大学院文化科学研究科教授

二〇〇六年 四月 岡山大学大学院社会文化科学研究科教授

二〇〇八年 四月～二〇一二年 三月

岡山大学法学部副学部長

二〇一〇年 四月～二〇一二年 三月

岡山大学法学部夜間学部主事

二〇一三年一〇月～二〇一四年 九月

エストニア共和国タールリン大学政治学・ガバナンス研究所客員研究員

二〇一五年 四月～二〇一七年 三月

岡山大学大学院社会文化科学研究科副研究科長

二〇一八年 四月～二〇二〇年 三月

岡山大学法学部長

二〇二一年 四月 岡山大学学術研究院社会文化科学学域教授

二〇二一年 四月～二〇二三年 三月

岡山大学学術研究院社会文化科学学域長

二〇二六年 三月 岡山大学退職

主要業績目録

著書

- 国家と民族を考える（共著）
 ミネルヴァ書房 一九九九年 五月
- ロシア近現代史（分担執筆）
 ミネルヴァ書房 一九九九年 六月
- 法生活と文明史（分担執筆）
 未来社 二〇〇二年 三月
- 民主化とナシヨナリズムの現時点（共著）
 ミネルヴァ書房 二〇〇六年 三月
- 外国人参政権問題の国際比較（共編著）
 昭和堂 二〇〇六年 一月
- ポピュリズム・民主主義・政治指導（共著）
 ミネルヴァ書房 二〇〇九年 一月
- 保守主義とは何か（共著）
 ナカニシヤ出版 二〇一〇年 五月
- 移民と政治（共編著）
 昭和堂 二〇一一年 一月
- 政治の司法化と民主化（共著）
 晃洋書房 二〇一七年 三月

論文

- Ⅱ・ロ・ヤクーシキンとデカプリスト運動（一）
 法学論叢一二七巻三号・四号 一九九〇年六・七月
- （二）
 政治経済史学二九一・二九二号 一九九〇年七・八月
- バルト三国の独立―一九一七―二〇年―（一）
 （二）
 政治経済史学二九一・二九二号 一九九〇年七・八月
- ゲルツェンとデカプリスト「伝説」
 愛媛法学会雑誌一九卷二号 一九九二年 五月
- ラトヴィアにおける「ロシア」人問題
 愛媛法学会雑誌二〇卷一号 一九九三年 五月
- 独立国家形成期のエストニア
 政治経済史学三三二号 一九九四年 三月

- エストニアの対ソ講和―タリツ条約への道
ラトヴィアにおける市民権問題の現状と課題
アレクサンドル一世の「精神的ドラマ」について
ラトヴィア共和国における市民権政策の展開
―一九九一～二〇〇一年
ラトヴィア共和国の言語政策と少数民族問題
―「国家語」法をめぐる動向を中心に
ラトヴィア共和国の市民権政策と「非市民」の帰化プロセス
エストニア共和国の市民権政策とロシア語系住民問題
環バルト海地域協力とBCIの近隣諸国政策
プーチンズム…民主主義へのロシアの途？
エストニア共和国の民主化プロセスと政治文化をめぐる議論
ソ連邦の崩壊とロシアの政軍関係
エストニア共和国の「民主化」と「安定」
エストニアにおけるロシア語系住民の社会統合
―「戦争記念碑」問題を中心として
プーチン・メドヴェージェフ政権下のロシア政治
エストニアにおける民族間統合と歴史認識をめぐる問題に関する一考察
- 愛媛法学会雑誌二〇卷三・四号
愛媛法学会雑誌二六卷三・四号
愛媛法学会雑誌二七卷四号
愛媛法学会雑誌二八卷三号
岡山大学法学会雑誌五二卷三号
岡山大学法学会雑誌五三卷三・四号
岡山大学法学会雑誌五四卷四号
文化共生学研究五号
岡山大学法学会雑誌五七卷一号
岡山大学法学会雑誌五七卷二号
岡山大学法学会雑誌五九卷三・四号
岡山大学法学会創立六〇周年記念論集
社会科学論集四九号
岡山大学法学会雑誌六三卷一号
岡山大学法学会雑誌六三卷四号
- 一九九四年 三月
二〇〇〇年 三月
二〇〇一年 三月
二〇〇二年 三月
二〇〇三年 三月
二〇〇四年 三月
二〇〇五年 三月
二〇〇七年 三月
二〇〇七年 九月
二〇〇八年 三月
二〇一〇年 三月
二〇一〇年 四月
二〇一一年 三月
二〇一三年 八月
二〇一四年 三月

ロシアにおける政治の「司法化」

— 憲法監督制度をめぐる問題との関連で —

ロシア連邦憲法裁判所と政治の司法化

エストニアにおける新しい政治の「波」

— EKRE の事例を通して —

ロシアにおける「反汚職」の政治

エストニア共和国における移民問題の現状と課題

— 「暴動」(二〇〇七年) 以後の統合政策の展開を通して —

エストニアの民族間統合と安全保障問題

— 「社会意識調査」(二〇二三年五月) の結果に照らして —

エストニアにおけるロシア語系住民の社会統合問題

— 「差別的」市民権政策から統合政策への移行プロセスの中で —

岡山大学法学会雑誌六四卷三・四号

二〇一五年 三月

日本法学八二卷三号

二〇一六年 二月

ロシア・ユーラシアの経済と社会一〇四四

二〇一九年 九月

号

岡山大学法学会雑誌七〇卷三・四号

二〇二〇年 三月

岡山大学法学会雑誌七四卷一号

二〇二四年 八月

岡山大学法学会雑誌七五卷一号

二〇二五年 九月

遊佐徹教授退休記念論集(吉備人出版)

二〇二六年 三月

翻訳

「シテインベルク」独立達成後のラトヴィヤ」

愛媛法学会雑誌一九卷四号

一九九三年 三月

「アリアカース」一九三九年におけるエストニア

愛媛法学会雑誌二〇卷二号

一九九三年 九月

「ア共和国の対外政策」

「バルトマニス」「バルト三国における精神状況について」
愛媛法学会雑誌二四卷一号 一九九七年 七月

書 評

大中真『エストニア国家の形成——小国の独立過程と国際関係』
国際政治一四三号 二〇〇一年一月

浜由樹子『ユーラシア主義とは何か』
年報政治学二〇一二年一 二〇一二年 六月

報 告 書

近代社会と失われた他者（研究分担者）
ナショナリズムの「プライド」と「アイデンティティ」（研究分担者）
文部省大学改革推進等経費成果報告書 二〇〇〇年 三月
科学研究費研究成果報告書 二〇〇三年 三月

東・東南アジア諸国における政治の民主化と安定（研究分担者）
海をめぐる地域的人間安全保障協力（研究分担者）
同 二〇〇五年 三月

外国人参政権問題の国際比較研究（研究代表者）
民主化後の「新しい」指導者の登場とグローバリ化（研究分担者）
同 二〇〇六年 三月
同 二〇〇七年 三月
同 二〇〇七年 三月

移民外国人問題とナショナル・ポピュリズム運動に関する比較地域研究（研究代表者）
同 二〇〇九年 三月

| | | | |
|-------------------------------------|---|-------|----|
| グローバル化時代の民主化と政軍関係に関する地域間比較研究（研究分担者） | 同 | 二〇〇九年 | 三月 |
| 移民外国人の社会統合問題をめぐる地域間比較研究（研究代表者） | 同 | 二〇〇九年 | 三月 |
| 地域協力と越境的ネットワークの変容に関する地域間比較研究（研究分担者） | 同 | 二〇一三年 | 三月 |
| アジア通貨危機の政治的遺産（研究分担者） | 同 | 二〇一三年 | 三月 |
| バルト諸国の移民と政治（研究代表者） | 同 | 二〇一八年 | 三月 |

教科書等その他

| | | | |
|----------------------|-------------------------|-------|-----|
| ソ連邦の崩壊と民族問題 | 柏樹一〇八号 | 一九九一年 | 一二月 |
| エストニアの「戦争記念碑」問題 | ユーラシア研究四一号 | 二〇〇九年 | 一月 |
| 多文化共生の潮流（分担執筆） | 岡山大学出版会 | 二〇一三年 | 三月 |
| エストニアのロシア語系住民と社会統合問題 | Migrants Network No.171 | 二〇一四年 | 七月 |
| 学会展望 政治史・比較政治（分担執筆） | 年報政治学二〇一五―II | 二〇一六年 | 三月 |
| ラトヴィアを知るための四七章（分担執筆） | 明石書店 | 二〇一六年 | 五月 |